

全国知事会「持続可能な社会保障制度の構築に向けた会議」講演要旨
2018年9月5日、於都道府県会館 3F 知事会会議室
「豊かな長寿社会を将来世代に」
清家篤（慶應義塾大学）

〔Ⅰ〕世界に類をみない高齢化（図表 1）

- （1）高齢化の水準の高さ、速度の速さ、奥行きの高さ
- （2）高齢化は成功の証
- （3）高齢化を喜べるようにする

〔Ⅱ〕支える力を強化する（図表 2）

- （1）労働力人口の中期見通し
- （2）鍵を握る高齢者と女性の労働力率

〔Ⅲ〕就労を促進するための制度改革

- （1）公的年金制度の改革
- （2）税制の改革
- （3）雇用制度の改革

〔Ⅳ〕求められる社会保障制度改革（図表 3）

- （1）いわゆる 2025 年問題
- （2）必須の地域包括ケア

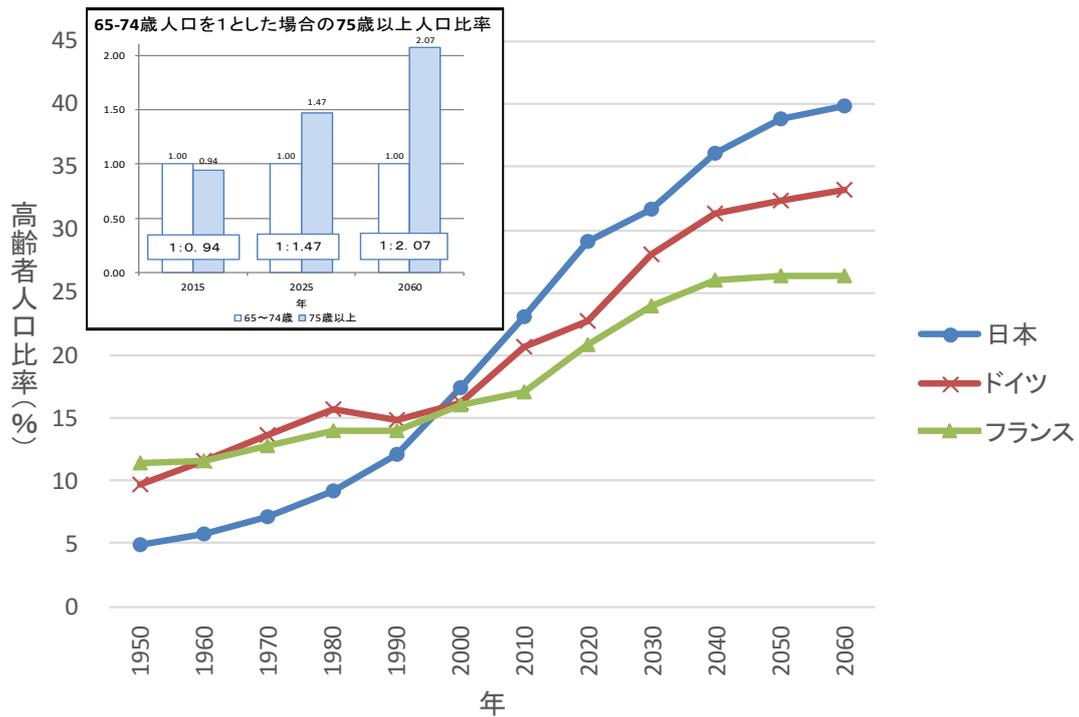
〔Ⅴ〕2040 年問題に備える（図表 4）

- （1）人口減少下での行政課題
- （2）団塊ジュニア世代の高齢化

〔Ⅵ〕社会的合意形成の必要

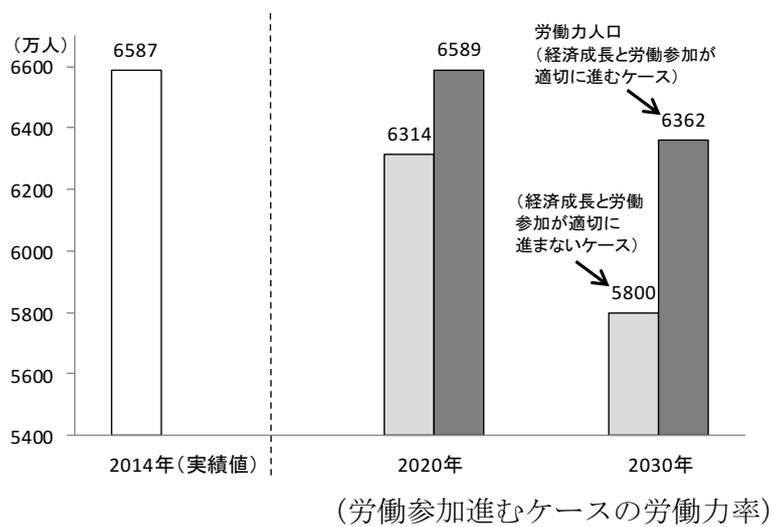
- （1）自助・共助・公助の役割分担
- （2）将来世代のために
- （3）奴隷と公智の視点で

〔図表 1〕 65 歳以上人口割合の変化



(資料出所) 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」から作成

〔図表 2〕 労働力人口の見通し



男性	60-64 歳	77.6%	→	85.4%	→	89.3%
	65-69 歳	52.5%	→	62.3%	→	67.9%
女性	30-34 歳	71.0%	→	79.3%	→	84.6%
	35-39 歳	70.8%	→	77.1%	→	83.8%

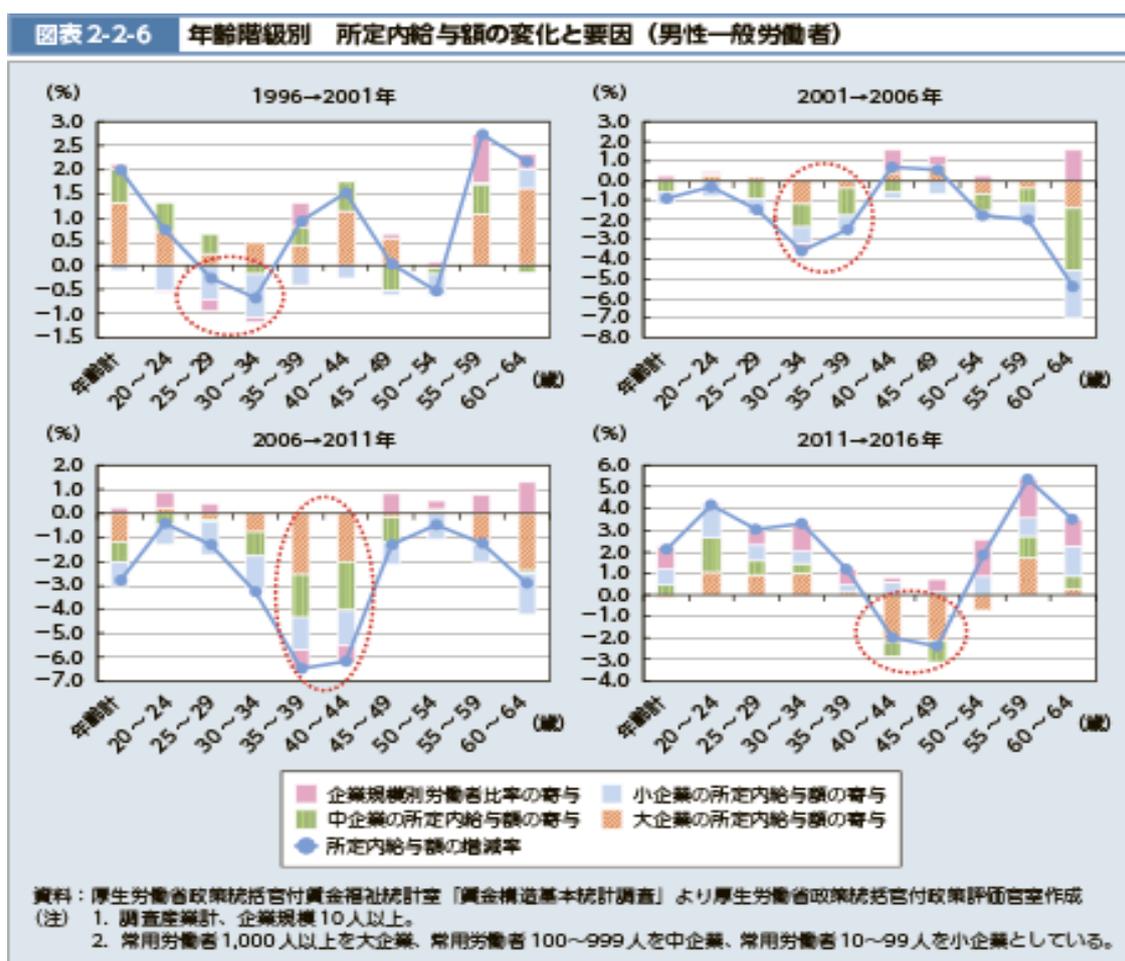
(資料出所) 厚生労働省雇用政策研究会推計、2014年実績値は総務省「労働力調査」、2020年及び2030年は(独)労働政策研究・研修機構推計

〔図表 3〕 社会保障給付費の将来見通し

	兆円 (% 対 GDP 比)		
	2012 年度	2025 年度	2025 年度/2012 年度
社会保障給付費総額	109.5 (22.8%)	148.9 (24.4%)	1.36
年金給付	53.8 (11.2%)	60.4 (9.9%)	1.12
医療給付	35.1 (7.3%)	54.0 (8.9%)	1.54
介護給付	8.4 (1.8%)	19.8 (3.2%)	2.34
子供・子育て支援	4.8 (1.0%)	5.6 (0.9%)	1.17
その他	7.4 (1.5%)	9.0 (1.5%)	1.22
GDP	479.6 (100%)	610.6 (100%)	1.27

(資料出所) 厚生労働省

〔図表 4〕 団塊ジュニアの経済状況



2001年に25～29歳は1972～1976年生まれ、30～34歳は1967～1971年生まれ
 (資料出所) 厚生労働省『平成29年版厚生労働白書』(2017)

「凡そ国民たる者は一人の身にして二箇条の勤（つとめ）あり。その一の勤は、政府の下に立つ一人の民たる所にてこれを論ず、即ち客の積りなり。その二の勤は、国中の人民申合せて一国と名づくる会社を結び、社の法を立て、これを施し行うことなり、すなわち主人の積りなり」（『学問のすゝめ』）

「奴雁」群雁野に在て餌を啄むとき、其内に必ず一羽は首を揚げて四方の様子を窺ひ、不意の難に番をする者あり、之を奴雁と云ふ。学者も亦斯の如し。天下の人、夢中になりて、時勢と共に変遷する其中に、独り前後を顧み、今世の有様に注意して、以て後日の得失を論ずるものなり。」（福澤諭吉『民間雑誌』明治7年）

「公智」：「人事の軽重大小を分別し軽小を後にして重大を先にしその時節と場所とを察するの働を公智と云う。」（福澤諭吉『文明論之概略』明治8年）